

*** 東叡山寛永寺 創建400周年記念事業 ***

東叡山寛永寺は1625年慈眼大師天海大僧正により創建された。今年が創建400周年。記念事業として、下記事業が行われます。

東叡山寛永寺は慈眼大師天海大僧正のよりよい国づくりへの強い願いのもと、江戸幕府の安泰と、国すべての人々の安寧と守護を祈祷する道場として建立された寺院です。徳川幕府直轄の道場として、全国すべての寺院を統括するとともに、天海大僧正の教えに従って、社会に開かれた寺院として人々の心の支えとなっていました。今回の創建400周年記念事業は、この天海大僧正の願いを更に広め、寺院の歴史と伝統を次世代に継承するためのものです。記念事業は寛永寺を支えてこられたすべての方々への報恩をもとに、永く世の平穏を祈願し続けてゆくための寺院の莊嚴の修復と、地域社会とつながりを深めるさまざまな行事を通じて心の学びと交流の場となることを目指して参ります。【東叡山寛永寺 HPより】

□ 東京国立博物館にて「寛永寺展」開催

寛永寺や子院に伝わる宝物を中心とした特集「創建400周年記念寛永寺」が開催。寛永寺本坊跡に建つ博物館との関わりも紹介。

会期：令和7年7月8日（火）～8月31日（日）

□ 手塚雄二画伯による天井絵奉納

手塚雄二画伯は、東京藝術大学名誉教授で現代屈指の日本画家。縦約6m 横約12m の巨大な天井板に直接描画するという類まれな作品制作は、「叡嶽双龍（えいがくそうりゆう）」と名づけられました。令和7年に画龍点睛を行うことで龍に魂が込められ完成し、根本中堂に奉納・設置されます。慶讃記念法要 令和7年10月10日（金）予定



□ 台東区主催シンポジウム開催

令和7年10月18日（土）・19日（日）

□ 記念誌発行 寛永寺を創建した天海（てんかい）大僧正の足跡を、寛永寺貫首・浦井正明が執筆

*** 伊佐須美神社御再建 ***



岩代国一之宮・会津総鎮守として第29代欽明天皇の時代（560年）に現在の宮地に御社殿が御造営されたと伝えられる。御社殿は、長い歴史の中で度重なる災害により焼失したが再建されてきた。去る平成20年10月3日及び29日に発生した不審火により、本殿・幣殿・拝殿・神饌所・神楽殿・橋廊・授与所等を焼失する事態となり、仮社殿での祭祀をしてきたが、このたび再建することになった。

事業予定費は 再建及び境内整備費 6.5億含めて総額8億円。室町時代以降継承されてきた社殿様式と本殿御扉（黄金扉・古代扉）の踏襲と復元し、積雪対策等で二重型拝殿や二重破風を設置する。令和12年中本殿・幣殿・拝殿竣工、遷座祭斎行。

再建のために奉賛金を募集しています。ご協力いただける方はよろしくお願いします。